

# 自己評価結果公表シート

認定こども園 二葉幼稚園

令和4年度

## 1、本園の教育目標

「たのしく、あかるく、たくましく」をモットーに「友だちとの遊び」を大切にしたい心の保育と、友だちと力を合わせた「社会性」を身に付ける保育、世界観を広げ日本伝統文化を大切に「ゆとりある心」「おもいやりの心」を育成する。

### 本園で目指す幼児像

1、「やってみたい」 興味・関心

4、「自分で考えて行動する」 自主性

2、「難しいけれど頑張ろう」 根気・意欲

5、「友だちと楽しむ」 協調性

3、「やればできる」 自信・達成

を育むことを目標とします。

## 2、本年度の重点的に取り組む目標・計画

- ① 新型コロナウイルス感染予防対策を、前年度同様行い安心して園で過ごせる環境を作る
- ② 地域の感染状況により、行事のやり方を考える
- ③ 認定こども園3年目に当たり、管理システムを使いこなせるようにする
- ④ 登降園の送迎時、園内外の安全に十分気を付ける体制を作る
- ⑤ 教職員の資質・能力を研修で高め、十分な教育・保育を提供する
- ⑥ チーム保育により子どもの成長を助長する

## 3、評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取組状況
・ 園内施設、登降園又遊具の安全について	<ul style="list-style-type: none"><li>◆ 保育室内や手指消毒、サーキュレーターの購入、健康観察カードの引き続きの提出により感染の減少に繋げる事が出来た。</li><li>◆ 3年振りの姉妹園との宿泊保育を7月に予定していたが、直前のコロナ感染により11月に延期し、夏とは違う季節感を味わえた。</li><li>◆ 登降園の送迎について・・・安全や近隣への迷惑行為に配慮し混雑を避ける為分散降園し、教職員で見守り事故防止にあたれた。</li><li>◆ 管理システム、クラス担任の出欠確認、保護者への電話連絡で、園児を安全に預かる事が出来た。</li><li>◆ 日々の点検を当番や全職員で行う。ことで事故防止が出来た。</li></ul>
・ 教育の質の向上	<ul style="list-style-type: none"><li>◆ 全ての子どもが、平等に色々な経験、体験を外部講師の手をかりることにより充実した保育を提供できた。</li><li>◆ 職員会議や終礼等でクラスの状況・問題点を意見交換により共有し、園全体の保育を円滑に出来る様にする。</li><li>◆ キンダーカウンセラー臨床心理士の指導の元、気になる子や健常児を、公平に全職員で見守り育成する事が出来た。</li><li>◆ 日々の保育の集大成として諸々の行事を行う事が出来、保護者と子育ての一体感を味わえた。</li></ul>
・ 情報の発信	<ul style="list-style-type: none"><li>◆ 管理システム(コミュナビ)により、緊急時又は園のお知らせが速やかに保護者に伝わる様にした。</li><li>◆ 役割分担を決め、事務管理も簡素化できるようにする。</li><li>◆ 未就園児向け園庭開放や2歳児預かり保育の予定をホームページやポスターで知らせ、コロナ禍以前の子育て支援をする。</li></ul>

#### 4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

令和4年度、取り組んできた登降園の安全確保やチーム保育は、子ども達や保護者が安心して園で過ごすとても重要な要素である為、これからも試行錯誤しながら継続的に続けていく必要がある。

#### 5、今後取り組むべき課題

課 題	理 由
1、登降園時の安全確保、園庭遊び	◆ 警備員による自転車誘導の検討 ◆ 人数制限による園庭遊び
2、保育認定による保育期間の格差	◆ 1号認定園児への長期休暇期間中の保育提供について
3、教職員の働き方	◆ チーム保育のやり方を教職員が学び、よりよい保育を子ども達に提供できるよう話し合いの場を勤務内に設ける

#### 6、学校関係者の評価(開催日 5月27日)

- ・ 今年度の重点目標に基づいて、教職員全員が積極的にそれぞれの立場や、役割を考え協力し取り組んでいる事が確認できた。
- ・ 今年度の取り組みを令和5年度以降も引き続き認定こども園として取り組み、今後も引き続き子ども達が安全かつ安心した園生活を過ごせるように取り組んでほしい。

#### 7、財務状況

- ・ 公認会計士より適正に運営されていると認められている。